

# 事業概要シート

施策： 農地の保全と有効活用

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 有害鳥獣被害対策地域アドバイザー事業	現状維持	予算額	9,945 千円
		《 9,644 》	
財源内訳	国庫支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	9,945	千円

## 【事業の目的・概要・対象】

市が組織する鳥獣被害対策実施隊に狩猟や鳥獣の捕獲に関する専門的な知識や技術を有する有害鳥獣被害対策地域アドバイザーを配置し、各地域農家に対し、捕獲隊設置に向けた被害防止対策研修会や、アライグマ捕獲許可研修会等の開催、被害状況の実態把握など鳥獣被害対策の強化を図る。

対象者 鳥獣による農作物被害を受ける地域とその農業者

- ・ 鳥獣による農作物被害対策として、防護柵の設置相談及び維持管理の対策指導を行う。
- ・ 農作物被害の訴えがあった農地で有害鳥獣の捕獲業務を行う。
- ・ 鳥獣の出没に対する現地確認や相談を行う。

## 農作物被害の3対策 「防護」、「捕獲」、「棲み分け」を



バランスよく推進し、  
鳥獣被害が発生しにくい環境を目指す。

## 【背景】

鳥獣被害対策については従来より取り組んでおり、一定の効果はあるものの、被害は広範囲であり、なかなか改善傾向にないのが現状であり、専門の知識をもつ職員に市内全域で防護柵対策などの積極的な対策を行う必要があるため。

担当課	産業振興部 農林水産振興課	問合せ先	0957-53-4111 (内線257)
-----	---------------	------	----------------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	研修会・講習会実施回数	地区	5	4	4	4	4
②	地域アドバイザー配置数	人	4	4	4	4	4

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	わな免許特区活動集落（捕獲隊）	地区	7	8	9	10	11
②							

## 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費			8,496	9,644	9,945	9,945	38,030
国庫支出金			0	0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0
その他			0	0	0	0	0
一般財源			8,496	9,644	9,945	9,945	38,030
人件費			7,434	7,434	7,434	7,434	29,736
職員			0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	1.24人
時間外勤務			0h	0h	0h	0h	0h
嘱託員			2.80人	2.80人	2.80人	2.80人	11.20人
フルコスト	0	0	15,930	17,078	17,379	17,379	67,766

妥当性 (市の関与)	鳥獣被害対策を有効に進めるためには、地域の実情に合わせた計画的な防護柵の設置、環境の整備、捕獲対策を行うことが重要であるため、地域の自主的活動を推進する本事業の必要性は高い。
有効性 (施策貢献度)	鳥獣による農作物被害を減少させ、農業者の生産意欲を向上することにより所得向上につながる。
効率性 (コスト)	地域の実態に合わせた自主的な鳥獣害対策への取組が進むことにより、事業の効率性が上がる。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり